

地域貢献活動

台湾の爆発事故被害者のために滅菌製品を寄付

2015年6月27日、新北市の複合娯楽施設「八仙水上楽園」で500人以上が死傷する粉塵爆発事故が発生しました。負傷者が搬送された病院では医療物資が不足する事態となったため、日東電工(台湾)とNittoは、パーミエイドなどの滅菌製品600万円相当を、淡水馬偕記念病院ほか6つの医療機関に寄付しました。

この取組みに対して、在日台湾同郷会、在日台湾婦女会および在日台湾医師連合より感謝状を受領しました。

フィリピンの専業主婦のための手芸講座

2015年9月27日、ラグナ州サンタローサ市ブーク地区で手芸講座が開催され、専業主婦30人が参加しました。これは専業主婦を対象とした生計改善のための啓発活動で、NGOの支援により実現しました。日東電工フィリピンはスターターキットを全参加者に提供するとともに、従業員20人がアクセサリーや鍋つかみ、ラグの制作指導を行いました。

その後、同社が提供した5キロの布地を資本に5人の主婦が「起業」されました。手織りのラグと鍋つかみの利益が生活費の足しとなっています。



手芸講座の様子



「起業」した主婦たちと同社社員(右から3人目)

メキシコの障がい児施設でボランティア活動

日東電工メキシコと日東電工オートモーティブ(メキシコ)は、厳しい経済環境に置かれている福祉施設が多数あることを考慮し、近隣にあるCAM障がい児童学校を支援しました。

2015年10月24日、両社の従業員が水道ポンプの修理や通路の舗装など施設の修繕を行い、12月18日にはクリスマスパーティーを開催しました。これらの活動にかかる費用は、社内での募金活動で得た資金などが充てられました。

両社は、満面に笑みをたたえる子どもたちのために今後も継続して支援することを決定しました。



熊本地震に対する支援

2016年4月14日から16日にかけて熊本地方が相次いで強震に襲われ、甚大な被害が発生しました。一連の地震に対し、Nittoグループは被災者の救済と復興に役立てていただくため、日本赤十字社を通じて義援金500万円の支援を行いました。

また、支援物資(120万円相当)とグループ従業員からの募金約100万円も寄付しました。

国際交流・教育振興

インドの製造業経営幹部育成を支援

成長著しいインドですが、製造業に携わるのは就業人口の1割程度で、第二次産業の発展が課題となっています。状況改善に向けてJICA※が取り組んでいる「包括的成長のための製造業経営幹部育成支援プロジェクト」の一環として、2015年



熱心に講義を受けるインドの製造業幹部たち

5月21日、インドから製造業の幹部58人がNitto豊橋事業所を訪問されました。今回の視察は、日本のモノづくりの現場を体感し基本的な経営手法を学んでいただくことを目的としており、日東電工インドの働きかけにより実現したものです。

インドのさらなる経済発展に寄与すべく、日東電工インドは今後も支援活動を継続します。

※ JICA:独立行政法人国際協力機構(Japan International Cooperation Agency)。日本の政府開発援助(ODA)を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っている。

「ファースト・レゴ・リーグ」ベルギー・リンブルフ地区大会に協賛

日東ヨーロッパ(現日東ベルギー)は、青少年を対象とした国際的なロボット競技会「ファースト・レゴ・リーグ」のリンブルフ地区大会に協賛してきました。

参加チームはロボットの組み立てのほか、社会的課題に対する研究発表も行わなければなりません。2013年、この地域で技術指導のできる人材が不足していたことから、地元小学校とのパートナーシップが始まり、同社従業員がロボット製作技術のほか、効果的なプレゼンテーション方法も指導しています。日東ヨーロッパは子供たちが創造力を養い、将来直面する課題を解決してくれることを願っています。



スポーツ支援

第35回大阪国際女子マラソン

「チャレンジする人を応援します」をコンセプトに、大阪国際女子マラソンの協賛をはじめから12年目となりました。今



人文字応援の様子

日もNittoグループから多くの従業員が給水やゴミ拾いなどのボランティア活動に参加するとともに、新たに沿道での応援やスタジアムでの人文字応援を行って大会を盛り上げました。

例年に引き続き、大阪国際女子マラソンと同時に開催の「大阪ハーフマラソン」や「大阪エンジョイRUN」にも協賛しました。日東メディカルによるテーピングサービスが今回も大変好評でした。



スタート 写真提供:産経新聞社



テーピングサービス

毎年様々なアイデアを盛り込んで展開しているスポンサーブースでは、天井に透明フィルムを用いた解放的な空間を取り入れ、製品だけでなく開発秘話も紹介しました。さらに親子で楽しめるような工作イベントも企画し、多くの方にご参加いただきました。